

ともいきアートサポート事業

創作 × 地域展示

令和3年度事例集



はじめに

神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に基づき、障がいの程度や状態にかかわらず、誰でも文化芸術を鑑賞、創作、発表する機会の創出や環境整備を行うため、障がい者の方が創作する作品を「ともいきアート」と称し、展示や創作活動の支援等を令和2年度から実施しています。

本事業は「ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）」として、県内のアート団体、大学と協働・連携しながら、アート作品の鑑賞・発表の機会の創出に取り組むものであり、令和3年度は、プロのアーティストが県内4地域の県立の特別支援学校に出向いて、児童・生徒と一緒に創作活動を行いました。

また、そこで創作された作品等を広く県民に鑑賞してもらえるよう、各地域で作品の展示を行いました。さらに、より多くの方々に作品の魅力などをお伝えするため、本事例集を作成いたしました。

ワークショップに参加した特別支援学校の児童・生徒は、アーティストからの指導・助言を受けながら作品創作に取り組んだり、大学の学生と交流したりできたことが、とても貴重な経験となっています。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン展示を中心に行いましたが、児童・生徒のみなさんが制作した作品の新たな展示方法ができたことで、これまでご覧いただくことのなかった人々にも「ともいきアート」の持つ力を感じていただけたことと思います。この事例集を本事業の導入などの検討に、ご活用いただければ幸いです。

結びに、こうした本事業の取組並びに事例集の作成にご協力いただいた関係者の皆様に改めて御礼を申し上げますとともに、アーティスト等の指導・助言のもと、思うがままに「ともいきアート」の制作に取り組んだことが、参加された児童・生徒の皆さんの心に残り、将来に生かされていくことを願っています。

神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

もくじ

| | |
|--|----|
| はじめに | 02 |
| ◆ 川崎市 | |
| ● 創作：studio FLAT× 麻生養護学校 | 04 |
| ● 地域展示：「 gallery FLAT× ともいきアート 」 | 06 |
| ◆ 平塚市・伊勢原市 | |
| ● 創作：東海大学 × 平塚盲学校 | 08 |
| ● 創作：東海大学 × 伊勢原養護学校伊志田分教室 | 10 |
| ● 地域展示：水、呼吸、いのちのかたち「手の世界制作-2」展 | 12 |
| ◆ 小田原市 | |
| ● 創作：アール・ド・ヴィーヴル × 小田原養護学校 | 14 |
| ● 地域展示：「ともに生きる展2」 | 16 |
| 成果まとめ | 18 |



studio FLAT

✕ 麻生養護学校

2021年の9月に出張指導にて制作を行い、studio FLATアーティストと協働でパネル画や大きな落書き帳を制作しました。

| | | | |
|----------|----------------------------|--------------|--------------|
| 回数 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
| 実施日 | 令和3年9月3日(金) | 令和3年9月17日(金) | 令和3年9月24日(金) |
| 参加者 | 6人 | 7人 | 12人 |
| 実施団体 | NPO法人studio FLAT | | |
| 実施校 / 対象 | 神奈川県立麻生養護学校 / 知的障害教育部門、小学部 | | |
| アーティスト | 大平 暁 (studio FLAT 理事長) | | |



アーティストからのコメント

今回コロナ禍で麻生養護学校の児童生徒とstudio FLATアーティストとの直接の交流はできなかったが、共同制作のパネルでお互いのアートを通じて交流を行いました。Galleryに作品を飾り眺めていたアーティストが麻生養護学校の児童生徒の作品は色が綺麗だと話す場面などもありました。これからも機会があれば交流を続けていきたいと思います。



大平 暁（おおだいら・さとる）

1971年生まれ。多摩美術大学絵画専攻修士課程修了。NPO法人studio FLAT理事長。アートが人をつなぐをテーマに作品制作を行っている。同時に社会活動でもあるNPO法人studio FLATを運営し、障がいあるなしに関わらずFLATにアート作品を見て、作品の魅力をダイレクトに感じてもらう活動を行う。アートが人をつなぎ、新たな未来をデザインし、未知なる表現の価値創出を続けている。

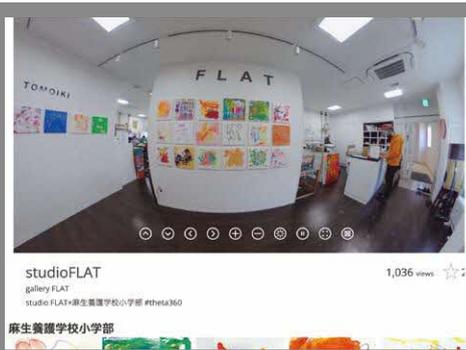
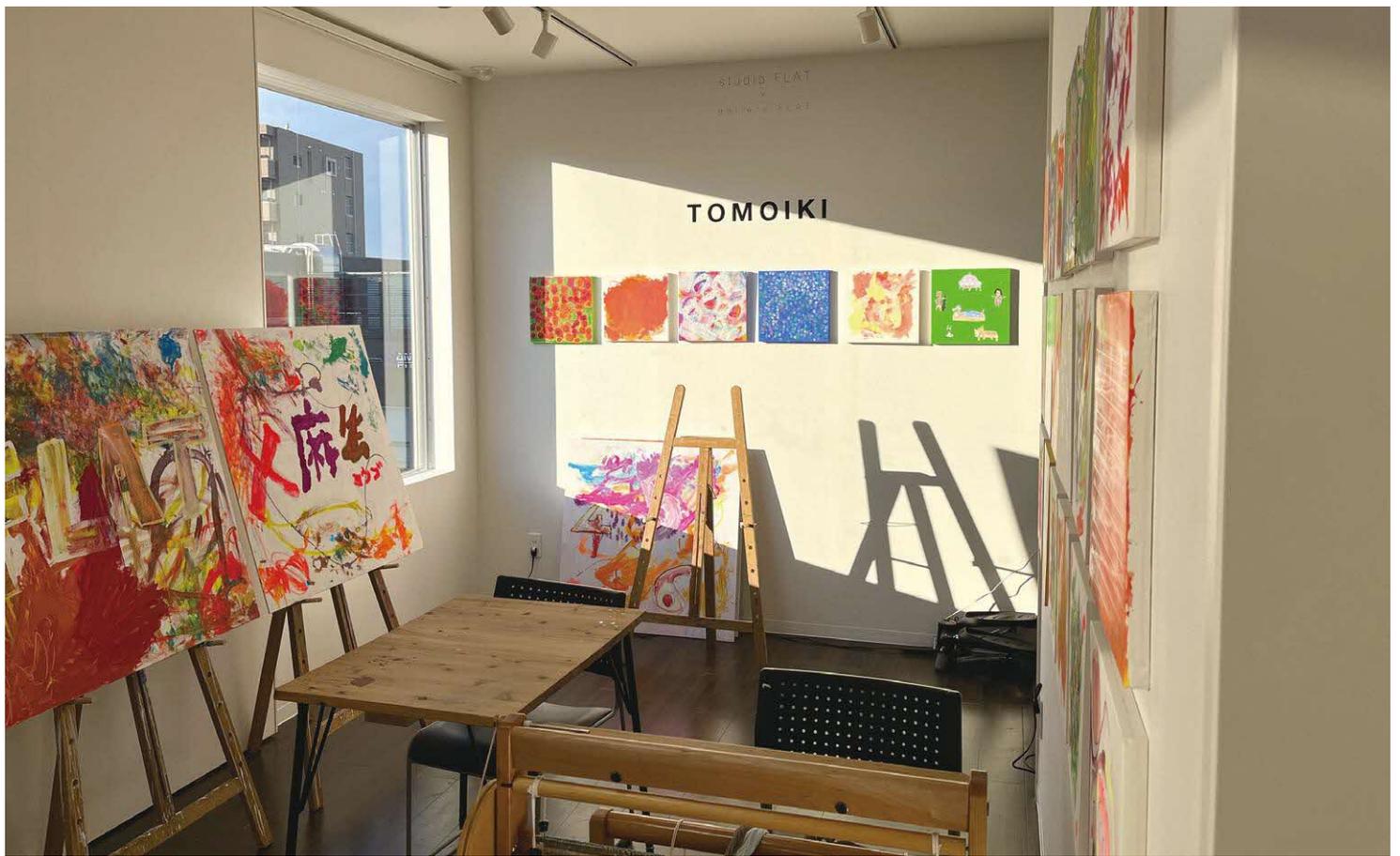
学校からのコメント

studio FLATの大平さんに、麻生養護学校知的障害教育部門小学部に訪問いただき、4～6年生に出前授業をしていただきました。これまで使ったことがないたくさんの色のアクリル絵の具を使い、思い思いにキャンパスに描画をしていきました。また、共同画としてFLATのアーティストさんが下書きしてくれた大きなキャンパスにも、みんなでダイナミックな動きで着色して、すてきな作品に仕上がりました。gallery FLATにも展示され、素晴らしい経験をすることができました。



神奈川県立麻生養護学校 [URL] <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/asao-sh/>

川崎市麻生区王禅寺にある神奈川県立の特別支援学校です。肢体不自由教育部門と知的障害教育部門のそれぞれに小学部、中学部、高等部があり、分教室と施設訪問もあります。児童生徒の自立と社会参加に向けて、思いやる力、たくましく生きる力、社会とかわる力の育成に取り組んでいます。



NPO法人studio FLAT



私たちstudio FLATはSDGsへの取組をアート通じて行っております。アートが人をつなぎ、障がいのあるなしに関わらず特別な呼称などない共に生きる社会を目指しています。SDGsのGOALS持続可能な目標として作品の販売を通じたアーティストの経済的自立支援や近隣の高校と連携した作品展示、端材の有効利用など様々な活動の取り組みをSDGsのゴールをめざし推進しています。

[所在地] 神奈川県川崎市幸区北加瀬2丁目11番3号 コトニアガーデン新川崎 SOUTH棟3F

[URL] <https://studioflat.or.jp/>



平塚市・伊勢原市

東海大学

× 平塚盲学校

亀井先生をはじめとしたアーティストの方々を迎え、東海大学教職資格センターの准教授、学生達やアーティストが平塚盲学校を訪問し、笛吹ボトルを作成するワークショップを行いました。

| 回数 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
|----------|--------------------------|---------------|--------------|
| 実施日 | 令和3年10月14日(木) | 令和3年10月28日(木) | 令和4年1月20日(木) |
| 参加者 | 9人 | 9人 | 9人 |
| 実施団体 | 学校法人東海大学教職資格センター | | |
| 実施校 / 対象 | 神奈川県立平塚盲学校 / 小学部・中学部・普通科 | | |
| アーティスト | 亀井 岳 (アーティスト) | | |



アーティストからのコメント

教える側と学ぶ側という直線的で一方向的なものではなく、参加者がそれぞれの立場に関わることによって、それぞれの学びがありました。多様性がうたわれ、ユニバーサルという言葉の響きを取り沙汰されがちですが、それらを実践することは簡単ではありません。ともいきアートサポート事業は障がい者とアートの関わりにフォーカスし支援するものですが、それらが社会に根付くということは、全ての人が学び合う環境を作ることかもしれません。



亀井 岳 (かめい・たけし)

1969年大阪生まれ。大阪芸術大学美術学卒業、金沢美術工芸大学大学院修了。彫刻、造形制作からインスタレーションを経て、2002年より映像制作へと転身。09年、長編初監督作品『チャンドマニ〜モンゴル ホーミーの源流へ〜』を完成。2015年『ギターマダガスカル』、2021年『ヴァタ 箱あるいは体』。

学校からのコメント

令和3年度は小学部・中学部・普通科の児童生徒9名が参加しました。古代アンデスの笛吹ボトルを触り、イメージを高めた後で自分たちの笛吹ボトルを作成しました。片側は自分自身、もう一方は自分の大切なものをイメージして作られた作品はどれも特徴のある魅力的な作品でした。焼き上がるまでは割れてしまっていないか心配でしたが、無事完成。息を吹き込んだり、水を入れて揺すってみたりするときれいな音が室内に響き渡りました。



写真A：©篠原聡 写真B：©中郡梨子



神奈川県立平塚盲学校 [URL] <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hiratsuka-sb/>

平塚盲学校は1910年に私立中郡盲人学校として始まり、今年、創立112年目を迎えました。視覚障害教育部門の特別支援学校として幼稚部・小学部・中学部・高等部まで一貫した教育を行っています。また専門教育を主とした理療科、専攻科では職業教育の充実に取り組んでいます。



平塚市・伊勢原市

東海大学



伊勢原養護学校伊志田分教室

堀江先生をはじめとしたアーティストの方々を迎え、東海大学教職資格センターの准教授、学生達やアーティストが伊勢原養護学校伊志田分教室を訪問し、水粘土を用いたワークショップを行いました。

| | | | |
|----------|--------------------------|---------------|---------------|
| 回数 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
| 実施日 | 令和3年10月25日(月) | 令和3年11月15日(月) | 令和3年11月29日(月) |
| 参加者 | 8人 | 11人 | 10人 |
| 実施団体 | 学校法人東海大学教職資格センター | | |
| 実施校 / 対象 | 神奈川県立伊勢原養護学校伊志田分教室 / 高等部 | | |
| アーティスト | 堀江 武史 (修復家) | | |



アーティストからのコメント

アート制作とは絵の「上手な」限られた人たちだけのものではありません。もっとたくさんの方が、没入して気持ちを豊かにするものであるはずで、暮らしと密着していたはずのアートとは、視覚優先の「特別な」ものではないでしょう。粘土造形の前にまずはデッサンを、というやり方は、人々から自信を奪い、人々をアートから遠ざけます。アートを豊かな生き方の「手段」として取り戻したい、というのが私の切なる願いです。



堀江 武史（ほりえ・たけし）

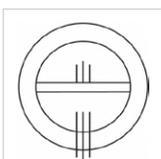
1967年東京都生まれ。國學院大學で縄文文化を学ぶ。卒業後は遺物から往時の手仕事を直接感受すべく、文化財修復を稼業に。一方で考古学を現代アートという形で推論して発表。また、各地でワークショップ「ともに考える考古学」を継続中。個展『るうびんの壺』（浅間縄文ミュージアム2019）、出展『ユニバーサル・ミュージアム』（国立民族学博物館2021）ほか。

学校からのコメント

今回の「考えないで作る」というテーマの造形ワークは、従来の授業で行う「明確な目標やねらいを教員が立て、生徒が何を作るか考え、完成形をイメージさせた上での制作」とは、全く異なる発想で行われました。生徒は、「うまく作らなければならない」という観念から解放され、「楽しかった」「自由な発想でできた」と満足そうな面持ちでした。また造形ワークを通して大学の学生さんと交流できたことも貴重な体験となりました。



写真A：©篠原聡 写真B：©中郡梨子



伊勢原養護学校伊志田分教室 [URL] <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/isehara-sh/bumon/bun.html>

伊志田分教室は、知的障害教育部門の特別支援学校である伊勢原養護学校の分教室として、平成24年4月1日に、県立伊志田高校内に開室されました。現在3学年合わせて43名の生徒が在籍しています。

水、呼吸、いのちのかたち「手の世界制作-2」展

水、呼吸、いのちのかたち「手の世界制作-2」展は、ともいきアートの成果を公開する展覧会で、子どもたちが作成した笛吹ボトルや造形作品、彫刻作品を展示しました。

展示会場 東海大学松前記念館（平塚市北金目4-1-1）

展示期間 令和4年3月1日(火)～31日(木)

来場者数 1,895人



平塚市・伊勢原市

ワークショップ、展示を通して

2年目は亀井岳氏、真世土マウ氏、広瀬浩二郎氏をはじめオブザーバーに鶴見英成氏、本学からは吉田晃章氏、山花京子氏、山本和重氏などの多彩な講師陣を迎え、大学所蔵のアンデスコレクションの中から「笛吹きボトル」を活用した造形授業を平塚盲学校で実施しました。また伊勢原養護学校伊志田分教室との連携も開始し、講師に堀江武史氏を迎え「縄文」をテーマとした水粘土による造形授業を実施しました。盲学校や養護学校の児童・生徒との交流は、大学教育の現場でもなかなか体験することができない貴重な学びの場となり、参加した東海大学の学生たちにも大きな刺激を与えることになりました。連携の成果は、展覧会「水、呼吸、いのちのかたち(手の世界制作-2)」で発表しました。同展には「水」や「宇宙」を連想させる現代美術家の間島秀徳氏の作品も展示しました。

手がつくりだす創造の世界を通して、人と人とのコミュニケーションや相互理解を深め、ともに生きる社会の実現を目指した展覧会となりました。



写真(P12~13)：©飯村昭彦



東海大学教職資格センター（現:ティーチングクオリフィケーションセンター）/松前記念館
 東海大学教職資格センターでは教職、学芸員、司書、社会教育主事を目指す学生を育成しています。学芸員課程では、学外の博物館や近隣自治体などと連携して、正課外の実践教育プログラムにも力を入れています。本年度も学内の松前記念館と連携し、展覧会を開催しました。

[所在地] 神奈川県平塚市北金目4-1-1 [URL] <https://www.u-tokai.ac.jp/>



アール・ド・ヴィーヴル

✕ 小田原養護学校

アール・ド・ヴィーヴルのアーティストが小田原養護学校を訪問し、児童生徒の皆さんと先生、保護者も一緒になって、5メートル四方のおおきな画用紙に絵具を使って創作しました。

| 回数 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
|----------|---------------------|--------------|--------------|
| 実施日 | 令和3年7月19日(月) | 令和4年1月12日(水) | 令和4年1月26日(水) |
| 参加者 | 6人 | 3人 | 3人 |
| 実施団体 | 認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル | | |
| 実施校 / 対象 | 神奈川県立小田原養護学校 / 小中学部 | | |
| アーティスト | 中津川 浩章 (アートディレクター) | | |



アートディレクターからのコメント

はじめは少し不安げで様子をうかがっている感じだったのが、スタッフやファシリテーターの声掛けで表情が明るくなり、ワークショップに入るハードルが下がっていくのがわかりました。短い時間の中で生徒たちは加速的に変化していく。それがもう一人の参加者にシンクロし同じリズムで床を叩き出ししばらくは即興的な打楽器のコラボレーションのような一瞬が生まれる。美術や音楽へそしてダンスのように身体が動く。芸術、表現のつながりが見えた貴重な時間でした。



中津川 浩章（なかつがわ・ひろあき）

美術家、アートディレクター、キュレーター。「埼玉県障害者アート企画」展、日本財団 DIVERSITY in the ARTS 公募展、アール・ド・ヴィーヴル、工房集のアートディレクター、川崎市岡本太郎美術館「岡本太郎とアールブリュット」展キュレーション。表現活動研究所ラスコー代表、一般社団法人 Art Inter Mix 代表、一般社団法人ゲットインタッチ理事。

[URL] <https://www.lascaux-labo.com/>

学校からのコメント

7月の終業式前日、小学部の子どもたちが、真っ白な紙やカラフルな絵の具に引き寄せられるように、ダイナミックに創作を始めました。絵の具が手についても、アールドヴィーブルの皆さんの優しい言葉がけと「子どもたちが好きなように、自由に描く」という方針の中、一人ひとりが気持ちを開放し、型にとられない自由な表現を仲間とともに楽しみました。2月のギャラリー展示では、多くの皆様に子どもたちの「輝き」を伝えることができました。



神奈川県立小田原養護学校 [URL] <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/odawara-sh/>

小田原養護学校は昭和53年に知的障害教育部門単独校で開校し、昭和61年に肢体不自由教育部門を併置、平成23年に大井分教室、令和3年に湯河原校舎が開設しました。学校ランドデザインに「一人ひとりが輝く学びの場～豊かな学びと、地域に根ざした安心できる生活の実現～」を掲げ、教育活動の充実に取り組んでいます。

「ともに生きる展2」

ワークショップで描かれたダイナミックな作品がギャラリーNEW新九郎で展示されました。コロナ禍により関係者限りの展示となりましたが、オンライン配信も実施しました。

展示会場 ギャラリーNEW新九郎（小田原市中里208 小田原ダイナシティWEST MALL 4F）

展示期間 令和4年2月23日(水)～28日(月)

来場者数 150人（オンライン展示 延べ219回視聴）



ワークショップ、展示を通して

津久井やまゆり園の事件をきっかけに、すべての命が尊重され、誰もがその人らしく暮らすことができ、あらゆる差別がない地域社会をめざして制定された「ともに生きる社会かながわ憲章」。その精神のもと、県西地域に唯一の特別支援学校「小田原養護学校」の生徒さんたちを中心とした作品展を行いました。開催に先立ち、2021年7月には、小田原養護学校の小学部の子供たちに向けて、2022年1月には、小田原養護学校中等部の生徒たちに向けたワークショップを開催しました。

展覧会は、新型コロナウイルス感染症の感染対策としてオンラインでの開催となりました。オンライン配信では、「今回はオンライン開催ということで会場でみることができず残念ですが、映像で各作品を丁寧に紹介していただき、家族でゆっくり楽しむことができました。」「アートとは障がいという概念を超えて、沢山の人と繋がる事が出来るんだなとあらためて感じました。」というお声をいただきました。



認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

地域の障がいがある子どもから大人を対象とした創作活動の場を提供するNPO、障害福祉サービス事業所を運営し、アートを事業化した就労支援と生活介護事業を行っています。また、誰でも参加できる多様なワークショップを提供しています。

[所在地] 神奈川県小田原市久野403-17 [URL] <http://artdevivre-odawara.jp/>

【 創作・地域展示 】

新型コロナウイルス感染症の影響で一般向けの展示を一部実施できませんでしたが、オンライン展示を行うことで、多くの県民へ鑑賞機会を提供することができました。また、アート団体等と県立特別支援学校との連携により、地域での文化芸術活動の支援にもつながりました。

創作（ワークショップ）

参加人数 計12日 延べ **93人**

| 所在地 | 川崎市 | 平塚市 | 伊勢原市 | 小田原市 |
|------------|------------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 実施主体 | NPO法人studio FLAT | 学校法人東海大学 教職資格センター | 学校法人東海大学 教職資格センター | 認定NPO法人 アール・ド・ヴィーヴル |
| 実施 教育機関 | 麻生養護学校 知的障害教育部門、小学部 | 平塚盲学校 小学部、中学部、普通科 | 伊勢原養護学校 伊志田分教室高等部 | 小田原養護学校 小中学部 |
| 参加人数 | 計3日 延べ 25人 | 計3日 延べ 27人 | 計3日 延べ 29人 | 計3日 延べ 12人 |

地域展示

来場者数 延べ **2,045人**

| 所在地 | 川崎市 | 平塚市※ | 小田原市 |
|-----------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 展示会 会期 | 令和4年2月18日(金)~25日(金) | 令和4年3月1日(火)~31日(木) | 令和4年2月23日(水)~28日(月) |
| 展示会場 | ギャラリーFLAT | 東海大学松前記念館 | ギャラリーNEW新九郎 |
| 来場者数 | オンライン展示 | 1,895人 | 150人 |

※平塚盲学校、伊勢原養護学校伊志田分教室分の展示を実施

【 創作 × 地域展示の企画にあたって 】

導入の参考としていただくために、創作×地域展示を企画するにあたっての実施主体団体からのコメントを掲載いたします。

創作

アート制作においては普段ふれることがないプロ向けの画材の提供を行った。本格的な画材に触れてもらうことが、制作のクオリティにつながる。

五感をつかって楽しんで取り組めるテーマを選定し、多彩な講師陣や学生との交流の機会を設けている。

ファシリテーターによる声かけと雰囲気づくりを大切に、参加者へのポジティブな言葉がけを心がけている。

このワークショップは、ご自身が思うままに自由な創作が出来る場であることを伝える。

みんなの力をあわせて大きな作品を完成させるまでの過程を楽しんでいただきたい。

地域展示

コロナ禍で対面ができないことも想定してネットでの展開もあらかじめ考慮して進めた。

博物館施設での展示会を開催し、見学ツアー等を実施した。

学校で制作された作品を校内展示で終わらせず、一般ギャラリーで、プロの監修により展示することを大切にしている。そうすることにより、作者のみならず保護者、その他の縁者へ発信ができる。そして何よりも大切なのは、縁もゆかりもない一般の人たちが、障がいがある人たちの作品に興味をもっていただく機会を作ることである。

【ともいきアート常設展示】

県立青少年センター・スタジオHIKARIの「交流スペース」に
 通年で、ともいきアートの常設展示を行いました。(東海大学と協働実施)

◎ 展示場所 県立青少年センター・スタジオHIKARIの「交流スペース」 ◎ 展示期間 通年(展示入れ替えあり)

| | 団体名 | 展示期間 | 来場者数等 |
|------|------------------------|--------------------------|---|
| 第1期展 | NPO法人studio FLAT | 令和3年6月10日(木)～8月15日(日) | 来場者数 4,067 人 オンライン 811 ビュー |
| 第2期展 | studio COOCA | 令和3年8月31日(火)～12月5日(日) | 来場者数 3,843 人 オンライン 597 ビュー |
| 第3期展 | 認定NPO法人 アール・ド・ヴィーヴル | 令和3年12月8日(水)～令和4年3月6日(日) | 来場者数 1,766 人 オンライン 388 ビュー |

第1期展



第2期展



第3期展



【ともいきアート巡回展示】

神奈川県庁新庁舎や神奈川県民ホールギャラリーでともいきアートの巡回展示を行いました。

| 展示会場 | 団体名 | 展示期間 | 鑑賞者数 |
|----------------------------|------------------------|--|--|
| ① 神奈川県庁新庁舎 1階ロビー | NPO法人studio FLAT | 令和3年7月1日(木)～15日(木) | 1,112 人 |
| ② 神奈川県民ホールギャラリー 1階第5展示室 | NPO法人studio FLAT | 令和3年8月25日(水)～9月5日(日) 関係者のみ現地で鑑賞 令和3年8月31日(火)～ オンライン視聴開始 | (来場者数) 642 人 関係者 (動画再生数) 207 回 |
| ③ 神奈川県庁新庁舎 1階ロビー | 認定NPO法人 アール・ド・ヴィーヴル | 令和3年9月13日(月)～30日(木) | 371 人 |

① 神奈川県庁新庁舎1階ロビー



② 神奈川県民ホールギャラリー1階第5展示室



③ 神奈川県庁新庁舎1階ロビー



【ともいきアトリース事業】

障がい者アートのリース事業を応援するため、知事執務室にてリース作品を展示しています。



(リース作品)
 アール・ド・ヴィーヴル所属のアーティスト
 阿部 花凜さんの絵画作品

(リース期間)
 令和4年2月1日(火)～令和4年3月31日(木)

【広報実績】

- ◎ 県のたより7月号(第2面～第3面)、8月号(第8面)
- ◎ 「カナフルTV」(tvk)7月11日(日)放映
- ◎ 「KANAGAWAマフィン」(FMヨコハマ)7月17日(土)放送
- ◎ 東京新聞 6月11日(常設展示の開始)
- ◎ 朝日新聞 9月17日(巡回展示(アール・ド・ヴィーヴル)の紹介)
- ◎ 広報おだわら 令和4年2月号(地域展示(小田原)について掲載)
- ◎ 広報かわさき 令和4年2月号(地域展示(川崎)について掲載)

ウェブサイト

令和3年度創作×地域展示を開催しました！

県立の特別支援学校の児童・生徒の皆さんが、アーティストの皆さんとともに作り上げた作品を県内33市町で展示しました。

| 展示名称 | 開催地 | 開催日 | 協賛先 | 主催者 |
|------|----------------------|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 展示名称 | studio FLAT x 麻生養護学校 | 令和3年10月17日(日) | 麻生養護学校、studio FLAT | 麻生養護学校、studio FLAT |
| 展示名称 | 伊勢原養護学校伊志田分校 | 令和3年10月17日(日) | 伊勢原養護学校伊志田分校、studio FLAT | 伊勢原養護学校伊志田分校、studio FLAT |
| 展示名称 | 東海大学平塚盲学校 | 令和3年10月17日(日) | 東海大学平塚盲学校、studio FLAT | 東海大学平塚盲学校、studio FLAT |
| 展示名称 | 伊勢原養護学校伊志田分校 | 令和3年10月17日(日) | 伊勢原養護学校伊志田分校、studio FLAT | 伊勢原養護学校伊志田分校、studio FLAT |
| 展示名称 | 東海大学平塚盲学校 | 令和3年10月17日(日) | 東海大学平塚盲学校、studio FLAT | 東海大学平塚盲学校、studio FLAT |

令和3年度各展示の詳細

// NPO法人studio FLAT x 麻生養護学校

gallery FLAT x ともいきアート

- studio FLATのアーティストが麻生養護学校を訪れ、バリエーション豊かな作品づくりワークショップを行いました。

- 児童の皆さんが描いた作品がgallery FLATで展示されました。

- NPO法人studio FLATについてはこちら ▶ <https://www.studioflat.co.jp/>
- 特別支援学校伊勢原養護学校伊志田分校についてはこちら ▶ <https://www.isei.ed.kanagawa.ac.jp/isei/>

// 東海大学 x 平塚盲学校、伊勢原養護学校伊志田分校

水、陸、空、いのちのかたち「非の世界制作-2」展

- 東海大学評議員研修センターの講師、学生連やアーティストが平塚盲学校を訪れ、画板バトルを体験するワークショップを行いました。

- 東海大学評議員研修センターの講師、学生連やアーティストが伊勢原養護学校伊志田分校を訪れ、水彩を用いたワークショップを行いました。

- ワークショップで作成した作品が東海大学館に展示されました。

- 東海大学についてはこちら ▶ <https://www.tokai.ac.jp/>
- 平塚盲学校についてはこちら ▶ <https://www.sen.kanagawa.ac.jp/peitaku/isei/>
- 伊勢原養護学校伊志田分校についてはこちら ▶ <https://www.sen.kanagawa.ac.jp/isei/>

県のたより7月号

「ともいきアート」公開中。

ともに生きる社会 かながわ憲章

ともに生きる社会 かながわ憲章

一 私たちは、多岐にわたる分野で、すべての人の生き生きとした暮らしを支え、誰もが安心して暮らすことのできる社会を築きます。

一 私たちは、障がい者の社会への参加を促すあらゆる施策、いかなる障がいや病も関係なく、誰もが活躍できる社会を築きます。

一 私たちは、この憲章の理念に向けて、継続して取り組んでいきます。



事業については、ウェブサイトでも発信しています
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoikiart.html>

ともいきアートサポート事業（創作×地域展示）令和3年度事例集

令和4年12月28日 発行

企画・編集 神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

制作 特定非営利活動法人S T スポット横浜

デザイン 水色デザイン

印刷 共進印刷株式会社

発行 神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 045-210-4961

FAX 045-210-8854

©2022 神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

執筆者一覧（五十音順）

阿久津 由紀子（平塚盲学校）

飯田 徹（麻生養護学校）

大平 暁（studio FLAT）

沖津 有吾（平塚盲学校）

金森 紀子（伊勢原養護学校伊志田分教室） 亀井 岳（アーティスト）

篠原 聡（東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター）

中津川 浩章（アートディレクター）

萩原 美由紀（アール・ド・ヴィーヴル）

廣瀬 忠明（小田原養護学校）

堀江 武史（修復家）

謝辞（五十音順、敬称略）

アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーNEW新九郎 ギャラリー青羅

studio FLAT 東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター

東海大学文明研究所 東海大学松前記念館

麻生養護学校 伊勢原養護学校伊志田分教室 小田原養護学校 平塚盲学校

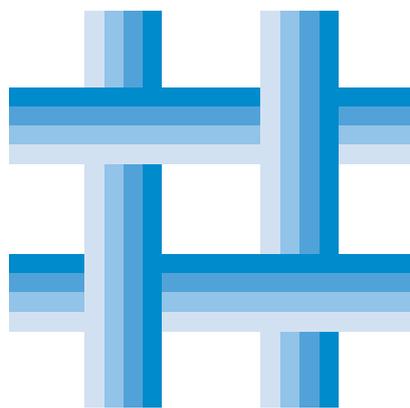
伊勢原市 伊勢原市教育委員会 小田原市 小田原市教育委員会

川崎市 川崎市教育委員会 平塚市 平塚市教育委員会

阿久津 由紀子 飯田 徹 遠藤 正子 大平 暁 沖津 有吾 金森 紀子 亀井 岳 篠原 聡

鶴見 英成 中津川 浩章 萩原 美由紀 広瀬 浩二郎 廣瀬 忠明 堀江 武史 真世土 マウ

宮坂 慎司 吉田 晃章 山下 敬子 山花 京子 山本 和重



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

ともに生きる 翔子